

ストレスマネジメントについて考える会

本会は、ストレスマネジメントに関する我が国の「研究」、「教育」、「実践」に共通の問題意識を有し、社会実装や学会設立も視野に入れた活動（学術研究、教育、臨床、政策提言、等）を共にする多様な有識者（医学者、医師、心理学者、公認心理師、臨床心理士、政治家、官僚、自治体職員、弁護士、等々）をコアメンバーとします。

また、**MIND BODY TRAINER** の運営を通じて得られる経験値を基に、下記のような課題について、本会メンバーと共に、研究企画・エビデンス構築、教材開発、専門人材養成など数々の医学、心理学、社会学、政策上の問題解決に貢献する所存です。

中尾睦宏

「医療アクセスと健康行動との関連性」、「医療機関に相談すべきか否かのガイドライン」、「ストレスに悩む患者予備軍の受け皿としての有効性」、「日本版改善プログラムの標準化とその有効性」、「プログラム運営上の課題や医療機関へつなぐ役割」、「予防医学的アプローチによる医療費削減効果」、「対面式からオンライントレーニングに切り替える際に生じる課題検討」、「トレーナークライアント間コミュニケーション」、「心理社会的ストレス自覚度の評価法と国際標準化」、「未病対象に向けて軽症うつや対人恐怖・赤面恐怖・社会不安症など併存疾患の問題」、「対面療法とリモート療法との効果の相違点」、「各種の身体不調とストレス起因との関係」、「ストレスマネジメントと能力開発の関係性（ポジティブ心理学的考察）」、「マインドフルネスとリーダーシップ論（組織論的管理論考察）」等々

◆メンバー

会長

- ・中尾 睦宏（昭和大学教授・ストレスマネジメント研究所長、医師）

会長補佐

- ・竹内 武昭（東邦大学医学部心身医学講座 准教授、医師）

特別顧問

- ・大塚泰正（筑波大学人間系心理学域 教授、日本行動医学会事務局長）
- ・中田光紀（国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部学部長、教授、日本行動医学会副理事長）
- ・中田善規（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授、帝京大学医学部麻酔科学講座 教授）

専門家

- ・石川 ひろの（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授）

- ・城月 健太郎（武蔵野大学人間科学部人間科学科・教授、武蔵野大学心理臨床センター長）
- ・市倉 加奈子（北里大学医療衛生学部保健衛生学科 准教授）
- ・錦谷 まりこ（九州大学病院メディカルインフォメーションセンター 特任准教授）
- ・古川 洋和（鳴門教育大学大学院 心理臨床コース 准教授）
- ・渋谷 克彦（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師、元厚生労働省医系技官、産業医）
- ・小林 如乃（昭和大学医学部公衆衛生教室 講師）
- ・野田 昇太（武蔵野大学人間科学部、順天堂大学大学院 医学研究科 非常勤講師）
- ・佐藤 幹也（住友重機械工業株式会社統括産業医、筑波大学医学医療系 非常勤研究員）

（2023年8月10日現在）